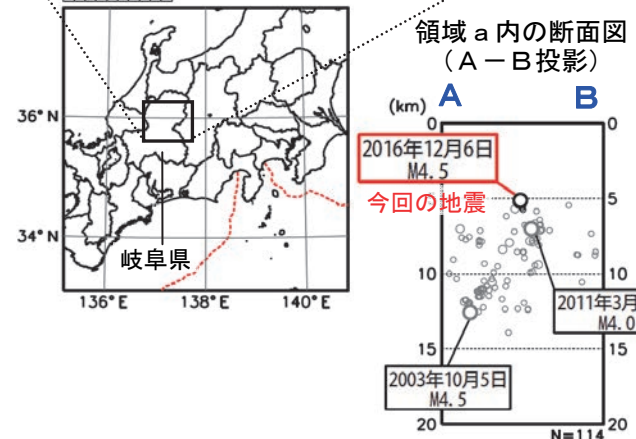
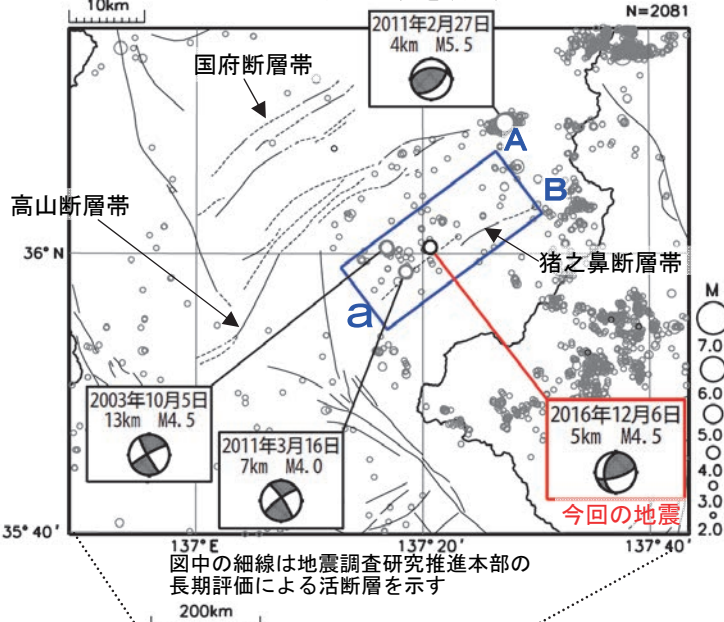


12月6日 岐阜県飛騨地方の地震

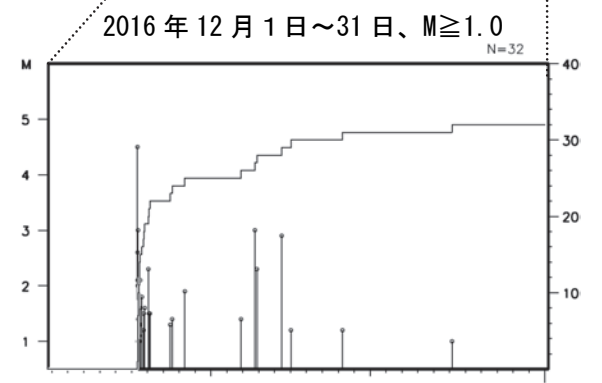
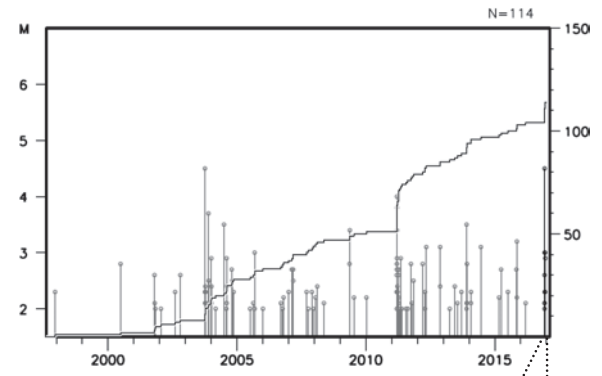
震央分布図
(1997年10月1日~2016年12月31日、
深さ0~20km、M≥2.0)
2016年12月の地震を濃く表示



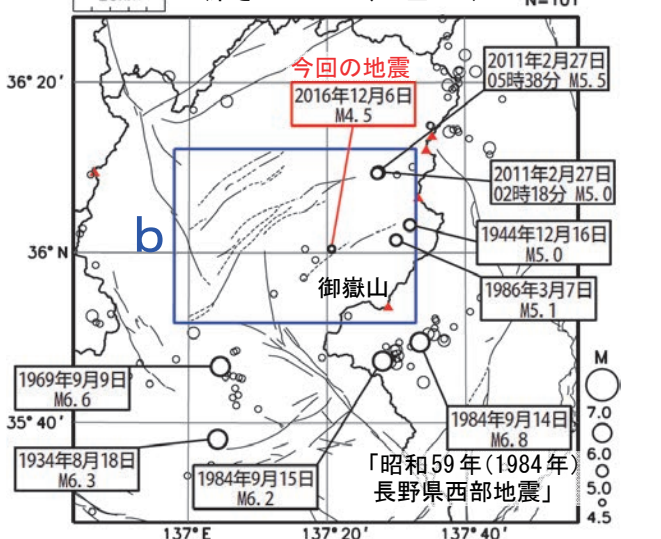
2016年12月6日09時05分に岐阜県飛騨地方の深さ5kmでM4.5の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ型であった。今回の地震の震央付近には、高山・大原（おっばら）断層帯の猪之鼻（いのはな）断層帯が存在している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M4.0以上の地震が時々発生している。「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生直後には地震活動が一時的に活発になった。また、今回の地震の周辺では2011年2月27日に発生したM5.5の地震（最大震度4）を最大とする地震活動により、住家一部破損2棟などの被害があった（総務省消防庁による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図

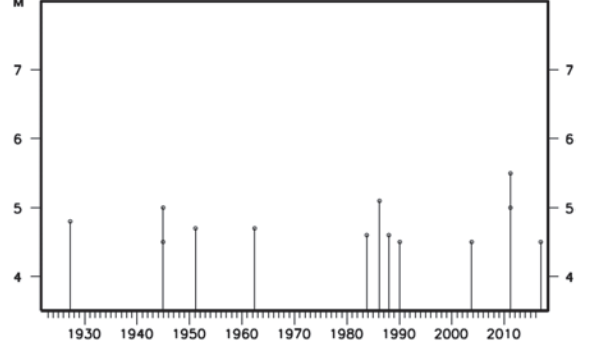


震央分布図
(1923年1月1日~2016年12月31日、
深さ0~30km、M≥4.5)



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が、4回発生しているが、M6.0を超える地震は発生していない。

領域b内のM-T図



図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す
▲は活火山を示す